

令和4年3月15日

保護者の皆様

仙台市立宮城野小学校
校長 鈴木 伸茂

令和3年度「教育活動に関するアンケートの結果」について

早春の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

いよいよ3月は、6年生が18日（金）に卒業式を、また、他の学年も24日（木）に修了式を控え、それに向かって各学年最後の学習のまとめに取り組んでいるところです。

さて、12月に実施いたしました児童・保護者の皆様を対象とする「教育活動に関するアンケート」につきまして、その結果をまとめましたので、教職員の自己評価結果や学校関係者評価委員の皆様からのご意見も含めて、ご報告いたします。保護者の皆様には、ご多用の中、調査にご協力をいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

☆ 実施日 令和3年12月10日（水）～12月17日（火）

☆ 対象者 仙台市立宮城野小学校 児童・保護者の皆様・教職員・学校関係者評価委員の皆様

1 令和3年度の協働型学校評価重点目標について

「協働型学校評価」とは、重点目標を設定し、学校・家庭・地域の三者が、児童のよりよい姿の実現に向け協働しながら取り組み、その成果を確かめ改善活動を継続的に実施していくという取組です。

今年度は下記の事項を重点目標として、取り組んでまいりました。

協働型学校評価の重点目標

○安全に気を付けて行動する（事故0）

交通安全、災害安全に対して正しい知識を持ち、必要な態度や行動を理解し、もしもの時に、自分で判断し行動できる。

○基本的な生活習慣（挨拶・言葉遣い・早寝・早起き・朝ご飯・返事）を身に付ける。

（目標達成率80%以上）

重点目標実現のための三者の改善活動

学 校	家 庭	地 域
○学校 ・「安全指導の日」「防災の日」を設定し、登下校の安全や災害から身を守るための知恵を身に付け、意識の向上を図る。 ・中学校と連携し「あいさつ運動」や「いじめ防止キャンペーン」へ参加し、主体的に取り組む。 ・全ての教育活動の中で指導する。	○家庭 ・子供が事故や事件に巻き込まれないよう声掛けするとともに、放課後の子供たちの様子を見守る。 ・親子の触れ合いを深め、家族ごとに目標を明確にして積極的に取り組む。（早寝・早起き・朝ご飯・挨拶・返事） ・「地域をあげて子供を守ろう委員会」による活動を継続する。	○地域 ・地域行事の際や地域で遊ぶ子供たちの様子を見守り、必要に応じて指導、支援する。 ・大人自らルールを守り、模範を示す。 ・機会を捉えて、子供たちと挨拶を行う。

2 結果のまとめ

(1)「基本的な生活習慣（挨拶・言葉遣い・早寝・早起き・朝ご飯）を身に付ける」について

児童アンケート【項目1】【項目2】【項目3】は、児童の挨拶についての自己評価を示す項目です。「そう思う」「ややそう思う」を合わせて約80%の児童が、挨拶をしていると考えています。

一方で保護者アンケート、教職員アンケートと地域アンケートの結果では共通して、児童が挨拶できることについて評価する【項目3】が低くなっています。特に、教職員アンケートでは、その差が大きくなっています。

挨拶については、昨今、不審者等についての不安もありますので、学校では「顔見知りの大人や防犯パトロールの腕章をつけている保護者の方々、教職員、校舎内ですれ違うお客様等」と、安心して接することのできる大人を対象にして、挨拶ができるように指導を重ねてきました。しかし、コロナ禍が長い期間に渡っていることもあり、地域や保護者の方への挨拶は、昨年度よりも1割程度、低くなりました。保護者の記述欄からは、各ご家庭で挨拶の大切さについてお子さんに教えていることが読み取れます。

学校では、日常の指導に加え、道徳や学級活動でも継続して挨拶についての指導を重ねて参りますので、保護者の皆様にも、お子さんとの会話の中で、顔見知りの地域の方々、防犯パトロール中の保護者の方々や教職員への挨拶について、継続して話題にしていただければと思います。

児童アンケート【項目4】は、児童の言葉遣いについての自己評価を示す項目です。「そう思う」「ややそう思う」を合わせて約80%弱の児童が言葉遣いに気を付けて生活していると考えています。教職員も約75%の児童が学校生活において言葉遣いに気を付けていると見ています。一方、保護者アンケート【項目5】を見ると、児童の評価より低くなっています。児童は、学校で言葉遣いに気を付けている一方、ご家庭においては、どうしても乱暴な言葉が増えるなど、意識が低くなるようです。今後も学校とご家庭で協力して声掛けをしていき、言語環境を整えて参ります。

児童アンケート【項目5】は、「早寝・早起き・朝ご飯」など、基本的な生活習慣についての自己評価を示す項目です。「そう思う」「ややそう思う」を合わせて約85%の児童が、基本的な生活習慣に気を付けて生活をしていると考えています。また、保護者アンケートでは、児童と同様に、約85%の保護者が、基本的な生活習慣に気を付けて生活をしていると考えています。教職員アンケートでは、約75%がおおむねできていると考えています。記述欄を見ますと「朝食は必ず食べる。」「朝食を必ず食べていけるように早寝・早起きを心掛けている。」など、健康面においてご家庭でも意識していることがうかがえます。一方で、基本的な生活習慣が身に付くように声掛けはしているが、声掛けしないといけない。あるいは、声掛けされてもしない。などの声が寄せられました。「早寝・早起き・朝ご飯」は、一日の生活のリズムをつくる上で基本となりますので、今後ともご協力をお願いします。

(2)「安全に気をつけて行動する」について

児童アンケート【項目6】【項目7】は、児童の安全について自己評価を示す項目です。「そう思う」「ややそう思う」を合わせて95%以上の児童が、事故にあわないように、ルールを守り、気を付けて道路を歩いたり、生活したりできています。そして、災害や事故にあったときは、どうしたらよいか理解していると考えています。昨年度より僅かですが、安全に対する意識の向上がうかがえます。

一方で保護者アンケートと地域アンケート、教職員アンケートの結果では共通して、保護者や地域、学校の取組を示す【項目2】の評価に比べて、子供が「安全を意識して行動している。」の評価を示す項目が低くなっています。

学校では、防災教育や防犯教育、安全教育について、機会を捉えて指導を行って参りました。

保護者の皆様は「地域をあげて子供を守ろう委員会」の取組として防犯パトロールを行い、子供たちの安全で安心な生活のために尽力していただけて参りました。地域の皆様には、町内会の防災・防犯に関係する委員の方々や学校防犯ボランティア巡視員の皆様に、交通指導や見守りにご

協力をいただけてきました。

保護者、教職員の評価と比べて、子供たちの自己評価が良い数値を示していることは、家庭や地域、学校で褒められて、自分の行動に自信を持っていることを表しているものと考えます。しかしながら、大人から見た児童の登下校やふだんの生活の様子からは、不十分な面が見られるようです。

自分を肯定する気持ちが高いことは、良いことです。子供たちの自信を大切にしながら、保護者、地域、学校の指導や見守り活動を継続していくことが大切だと考えます。学校では、子供たちに対し、安全に関する知識の確かさや行動の良さを褒めながら、理解できていない点や行動できていない点について、日常の学級指導を中心に指導していきたいと考えます。ご家庭でも、防犯パトロールをした際や、ニュースなどで安全に関する報道があったときなどの機会を捉えて、お子さんとの会話の話題にしながら、今後も継続して場面に合わせた安全対策について具体的な話をさせていただければと思います。

3 学校評議員・学校関係者評価委員の皆様から

(1)「基本的な生活習慣（挨拶・言葉遣い・早寝・早起き・朝ご飯）を身に付ける」について

- ・犬の散歩で志波北公園や汽車ぽっぽ公園、宮千代公園で遊んでいる子供たちに会います。その際に、挨拶や犬の話になり、犬がいることで話が膨らみます。
- ・登下校時、学校訪問時、挨拶や声掛けを行っている。
- ・地域の方々と挨拶している人は決まっているように思う。今の子供たちは知らない人とは話さないという教え（防犯上）を受けている児童が多いと思うので、せめて家の前で子供を見かけたら地域の方から挨拶していただくと、子供もこの人はこの家の人で地域の人なんだな、安心できるなと思い、次からは、自分から挨拶するようになるのではないかなと思う。知った顔の大人が多くいることは、子供たちの防犯にもつながると考える。
- ・高学年は、恥ずかしくなる年頃なので、挨拶をしなくなる傾向がある。この時期に教える方法はあるのか？
- ・スマイル先生みたいに子供たちと先生のように関わり、子供たちから知られる人であれば、挨拶などのコミュニケーションができると思うが、あまり会ったことがない者同士が挨拶というのなかなか難しいところである。親同士ですら個人情報による制限もあり、同じクラスの子ですら分からないので、難しい時代だと思う。知らない者同士だと人に対して無責任になってしまう気がする。知り合うこと、コミュニケーションがとれる環境が人をつなげ、挨拶や安全につながるのだと思う。

(2)「安全に気をつけて行動する」について

- ・不審者情報があるときは、地域のパトロールを行っている。また、夕刻時に地域のパトロールを行っている。その際、暗くなっても遊んでいる児童に声掛けをしている。
- ・安全に注して登下校している子もいれば、歩道いっぱい広がって歩いている子たちもいる。時々、見ていてハラハラする場面もある
- ・下校時、保護者の方が通学路に立って子供たちを見守っている姿を見て、いつも感心している。この体制が続いていることもすばらしいと思う。
- ・宮城野萩通りの歩道は狭いが、追いかけてっこをしている1年生を時々見かけ、危険を感じる。安全に気を付けている子とそうでない子と個人差もあると思う。
- ・通学時、可能な限り通学路上で子供たちに交通ルールを守るように指導している。
- ・通学路の見直しをしてほしい。

4 まとめ

「基本的な生活習慣を身に付ける」では、児童が考える「できている」という姿と、大人（教職員や保護者）が考える「できている」という姿に、ほぼ違いはありませんでした。年度初めに設定した目標は、概ね達成できました。

挨拶については、よく挨拶ができる児童と苦手な児童との2極化が見られるものの、「自分から」の観点を大切にして、継続して指導に力を入れてきました。今年度も、コロナ禍の中、様々な制約はありましたが、主体的に挨拶をしようとする児童が多く見られました。

基本的な生活習慣の一つとして新しい生活様式が定着し、児童は「て（手洗い）・ま（マスクの着用）・ね（熱を測る）・き（距離を取る）」を意識しながら、頑張ってきました。しかし、オンラインゲームによる友達とのトラブルやYoutubeの閲覧のしすぎによる生活習慣の乱れなど、コロナ禍ならではの課題も見られました。「早寝・早起き・朝ご飯」「言葉遣い」は、健康な生活を送るための基礎となります。今後も、保護者・地域・学校が連携を深め、児童の健やかな成長のためにご協力をお願いします。

「安全に気を付けて行動する」につきましては、交通ルールの遵守や安全に対する理解、意識の高さがうかがえます。今年度は小さな事故もなく、事故0を達成することができました。また、災害時や不審者等との遭遇したときの対処を理解し、自分で行動できる児童が増えています。

今後も児童の安全確保のために安全・防災・防犯教育の充実に努めて参りますので、今後とも保護者の皆様には、「地域をあげて子供を守ろう委員会」などでのご協力をお願いいたします。

最後に、「教育活動に関するアンケート」へのご協力に対し、改めまして心から御礼申し上げますとともに、来年度も本校の教育活動に対し、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

※ 学校評価結果の概略は、宮城野小学校ホームページで公開を予定しております。